

後援会通信「グロース」春号

GROWTH



—大学と家庭をむすぶ— Linking the University with Families

▶GROWTH(グロース)の意味は、「成長する」です。聖書には、「どんな種より小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる。」(マタイによる福音書13章32節)、また、「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です」(コリントの信徒への手紙一3章6節)と記されています。東北学院大学の学生の皆さんが各分野において、知識や技術、教養を十分に修め、神と人に祝されつつ大きく成長するようという期待が本誌に込められています。

学都仙台、史跡の町多賀城、これらの地域にある3つのキャンパスに本年も新生を迎え、新しい年度がスタートしました。東北学院大学後援会は、学生の勉学や課外活動を支援するために組織されたものです。また、本誌「グロース」は、大学の近況を後援会会員であるご父母の皆さまへお伝えする情報誌であり、大学と家庭の架け橋となるものです。今号では、後援会総会や地区後援会の開催などについてお知らせしております。学生の充実した大学生活と東北学院大学の発展のために、ご父母の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

CONTENTS

後援会会長挨拶	1
学長挨拶	2
平成18年度後援会総会のお知らせ	3
平成18年度地区後援会のお知らせ	4
平成18年度年間スケジュール	5
キャンパス・ニュース	6
教育と研究の世界	7
キャンパス・ボイス	9
学務部より	12
学生部より	13
就職部より	14



後援会会長 挨拶

村 松 巖

株式会社七十七銀行代表取締役頭取、同銀行代表取締役会長、社団法人全国地方銀行協会副会長、仙台商工会議所会頭、日本商工会議所副会頭、東北六県商工会議所連合会会長、東北経済連合会副会長などを歴任。現在、株式会社七十七銀行相談役などを務める。

暖かく優しい日差しが注ぎ、草木の芽ぐむ季節となりました。在学生のご父母の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、本後援会の活動に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。今春も、東北学院大学後援会の会員として、新たに3,000余名の新生のご父母の皆さまをお迎えいたしました。新生のご父母の皆さま、ご入学おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

さて、本後援会は、在学生のご父母を会員として、ご子女の円滑な学生生活と大学の充実・発展に寄与するため、昭和24(1949)年に設立され、各種の活動を展開してまいりました。その中でも、「後援会総会」と「地区後援会」は、ご父母の皆さまと大学の教職員が直接交流できる場として大変好評をいただいております。また、後援会では、皆さまからの会費をもとに学生の課外活動に対する補助や奨学金への助成を通して、ご子女の学生生活の支援を行っております。近年において、不安定な経済情勢により家計状況が急変し、奨学金を希望する学生が増えていると聞いております。大学では、貸付奨学金制度を導入し「緊急貸与奨学金」を交付しておりますが、後援会では支援活動の一つとしてその「緊急貸与奨学金」への助成を行っております。

このように、後援会は大学と家庭の連携を密接にしながら活動しており、平成18(2006)年度も後援会総会と地区後援会を実施

してまいります。特に後援会総会では、大学の協力を得て、「教員による公開講座」「パイプオルガンコンサート」「学科別懇談会」「学生部・就職部による相談コーナー」「学生の就職を考えるセミナー」など、多彩なプログラムを用意しております。昨年は、約1,500名のご父母の方々に後援会総会と大学開放プログラムにご参加いただきましたが、今年もより多くのご父母の皆さまが大学の教職員と意見を交わすことができ、有意義なひとときを過ごしていただきたいと願っております。

地区後援会については、北海道札幌市から東京都までの全29地区で開催いたします。総会と同様に、ご父母の皆さまと交流が図られますよう各地区に大学から教職員を派遣していただき、大学の教育方針の説明や近況の報告、教員による公開講座、学務部・学生部・就職部による説明や個別面談などを実施いたします。後援会といたしましては、親元を離れて学生生活を送っているご子女の成績や就職問題などについて、少しでもご父母の方々の悩みや不安の解消につながればと願っている次第です。

最後になりますが、会員の皆さまには、今後とも本後援会の活動に積極的にご参加いただき、更なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

後援会役員・顧問・参与・事務局長・ 事務局長名簿 平成18年4月1日現在

会 長	村 松 巖	(仙 台 市)
副 会 長	江 馬 成 夫	〃
〃	三 島 卓 郎	〃
庶務担当理事	後 藤 久 幸	〃
会計担当理事	高 橋 祥 允	〃
理 事	浅 野 ひ と み	〃
〃	阿 見 孝 雄	〃

理 事	壺 岐 洋 治 (仙 台 市)	理 事	桂 久 (札 幌 市)
〃	伊 東 知 男	〃	成 田 智 典 (青 森 市)
〃	寒 河 江 満 子	〃	松 本 宏 (八 戸 市)
〃	佐 久 間 敬 子	〃	高 橋 秀 彦 (秋 田 市)
〃	高 橋 俊 宏	〃	深 澤 禎 彦 (横 手 市)
〃	平 野 貞 夫	〃	工 藤 敏 彦 (盛 岡 市)
〃	堀 田 正 昭	〃	大 友 敏 男 (宮 古 市)
〃	渡 辺 静 吉	〃	及 川 和 夫 (北 上 市)
〃	古 関 英 一 (多 賀 城 市)	〃	浦 島 康 弘 (大 船 渡 市)
〃	門 脇 利 勝 (石 巻 市)	〃	笹 島 敬 史 (新 庄 市)
〃	坂 本 憲 一 (気 仙 沼 市)	〃	佐 島 清 人 (山 形 市)



学長 挨拶

星 宮 望

■東北学院中学・高等学校卒業。東北大学大学院工学研究科電子工学専攻博士課程修了。工学博士。北海道大学教授、東北大学教授、東北大学副総長などを歴任し、平成16年3月東北大学を定年退官。同年4月より東北学院大学長に就任。東北大学名誉教授。専門は電子工学。

陽春の候、在学生のご父母の皆様には、ますますご壮健のことと拝察申し上げます。常日頃、本学の教育・研究に対して深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

東北学院は、1886年(明治19年)に教師2名と生徒6名からはじまり、お蔭様を持ちまして今年で創立120周年を迎えます。その間、1949年(昭和24年)には学校教育法の改正に伴い東北学院専門学校が新制大学に昇格し、現行の東北学院大学がスタートいたしました。当時は文経学部の単一学部で英文学科と経済学科の2学科だけでしたが、現在では5学部14学科を擁し、東北・北海道地区を代表する総合私立大学に発展するまでになりました。

現在、東北学院大学には学部学生が約12,000名と大学院生が約270名在籍し、学問研究の研鑽と課外活動にそれぞれ励んでおります。また、平成16年4月には大学院法務研究科法実務専攻(法科大学院)が開学し、順調な歩みを進めております。本学では高度な専門知識と幅広い柔軟な思考力を備えた「町弁護士」の養成を目指し、優秀で経験豊富な教員スタッフを配置したほか「法科大学院・総合研究棟」を建設するなど充実した学習環境も整備いたしました。

創立以来、本学はプロテスタント・キリスト教に基づく人間形成を建学の精神とし、個人の尊厳を重視する教育の伝統のもとに聖書の隣人愛と奉仕の教えを大切にしてきました。この建学の精神

は146,000余名の同窓生にも引き継がれ、専門の知識や技術を活かしながら、それぞれの分野で「地の塩」「世の光」として活躍しているところからもお分かりいただけると思います。

このように、東北学院大学は学生の広い学習や色々な可能性に応える教育・研究体制を整えていますが、後援会からのご援助が、これらの学生の多様な学生生活と個性豊かな人格形成に大いに役立っていることは申し上げるまでもございません。

本学の後援会は、今から57年前の昭和24年に設置され、大学院生を含む本学で学ぶ全ての学生諸君の学生生活を支えて参りました。大学としても学生諸君が充実した学生生活を送れるよう各種支援体制を整えサポートしておりますが、何よりも後援会からのご援助に感謝し、今後ともお願い申し上げます。

いま世界は、社会、政治、経済のあらゆる領域で急激に変化しています。本学では、その変化し続ける社会に対応できる人材の育成に努めますとともに、「絶えず変革されるべき大学」をモットーに常に時代の要請に応える大学へと日々改革に努めております。これからも本学独自の伝統を重んじつつ、21世紀に活躍する学生の皆さんに幅広い学びの場を提供できるよう、教職員一人ひとりが努力を惜しまない所存です。そして困難な時代だからこそ、本学学生がその掛け替えのない学生時代に自らの個性を磨き、人間として大きく成長することを心から願っております。

理 事	鈴木 信一 (酒田市)	参 与	関 谷 登	参 与	飛 田 善 雄	事務局員	佐 藤 光 男
〃	只 野 裕一 (相馬市)	〃	大 塚 浩 司	〃	原 田 善 教	〃	荒 荒 孝 夫
〃	佐々木 信之 (福島市)	〃	遠 藤 健 一	〃	高 橋 彌 穂	〃	桔 梗 元 子
〃	石 田 博 基 (郡山市)	〃	遠 藤 和 朗	〃	佐 藤 司 郎	〃	今 野 英 夫
〃	福 井 文 夫 (新潟市)	〃	斎 藤 誠 朗	〃	高 木 龍 一 郎	〃	斎 藤 英 正
監 事	天 江 皓 一 (仙台市)	〃	遠 藤 銀 朗	事務局長	鈴 木 孝 郎	〃	草 野 正 聡
〃	小 濱 良 雅	〃	佐々木 俊 三	事務局員	高 橋 嘉 男		
〃	白 木 進	〃	佐々木 哲 夫	〃	菅 野 健 淳		
顧 問	赤 澤 昭 三	〃	高 橋 征 士	〃	斎 藤 淳 二		
〃	倉 松 功 望	〃	井 上 義 比 古	〃	井 上 捷 二		
〃	星 宮 望	〃	秋 葉 勉	〃	吉 田 知 致		

平成18年度東北学院大学後援会総会開催のお知らせ

本年も、新緑映える泉キャンパスを会場に、後援会総会を開催いたします。当日は、総会のほか、教員による公開講座やパイプオルガンコンサート、学科別懇談会や個別相談などの「大学開放プログラム」を多数用意しております。この機会に、ご子女の学生生活の一端に触れていただければ幸いです。ご父母の皆さまのご参加をお待ちしております。

○日時:

平成18年5月20日(土)

総会 10時40分～12時

大学開放プログラム 10時～17時

○会場:

東北学院大学泉キャンパス(総会は礼拝堂)



昨年度の総会の様子

時間	開催内容	
9:00		
	受付 総合案内所 9:00～14:00 (1号館外)	
10:00	大学礼拝 10:00～10:30 (礼拝堂)	
	後援会総会 10:40～12:00 (礼拝堂)	施設開放 10:40～16:00
11:00	1.開会宣言 2.聖書朗読並びに祈祷 3.挨拶 4.議事 (1)平成17年度後援会庶務報告 (2)平成17年度後援会収支決算報告 (3)会計監査報告 (4)平成18年度後援会事業計画(案) (5)平成18年度後援会収支予算(案) (6)その他 5.閉会宣言 *学務部・学生部・就職部からの説明	昼食 11:00～14:30 (学生食堂)
12:00		(1)施設見学 就職資料室 図書館 情報処理センター オーディオ・ビジュアルセンター カウンセリングセンター (2)課外活動見学 体育館 総合運動場 (3)大学紹介 ビデオ上映 オーディオ・ビジュアルセンター
	本学教員による公開講座 12:20～13:00 (2号館5階) 講師 斎藤誠 法学部長	個別相談コーナー 12:30～16:00 (2号館各教室)
13:00	パイプオルガンコンサート 13:10～13:40 (礼拝堂) 演奏者 小野なおみ 礼拝オルガニスト	学生部 ・奨学金 ・課外活動 ・アルバイト ・健康管理 就職部 ・就職活動 ・求人状況 ・教員・公務員への試験対策と準備
14:00	学科別懇談会 13:50～14:50 (工学部は12:30～14:00) (2号館各教室) ・学科の特色や教育内容 ・質疑応答 ・教員との自由懇談(希望者のみ)	
15:00	学生の就職を考えるセミナー 15:00～16:10 講師:福沢恵子 (キャリアカウンセラー)	多賀城キャンパス見学会 15:00 泉キャンパス出発 (無料送迎バス) 15:30～17:00 多賀城キャンパス見学 17:30 泉キャンパス到着 (無料送迎バス)
16:00		
17:30		

平成18年度東北学院大学地区後援会開催のお知らせ

地区後援会とは、主に大学の夏休み期間を利用して、北は北海道札幌市から南は東京都までの全29地区に本学教職員が出向き、東北学院大学の近況のご報告や個別面談などを行うものです。5月の後援会総会の出席や欠席にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。また、夏休み期間で帰省されているご子女と一緒にご参加いただくこともできます。該当する地域のご父母の皆さまへの正式なご案内状の発送は、6月中旬を予定しております。多数の方々のお申し込みをお待ちしております。

○実施期間

平成18年7月15日(土)、
 8月17日(木)～19日(土)、
 8月24日(木)～26日(土)、
 8月31日(木)～9月2日(土)、

○実施会場

全29地区(下記の表をご参照ください。)

○プログラム

学務部・学生部・就職部からの説明、大学紹介ビデオの上映、教員による公開講座、昼食、個別面談など



昨年度の函館会場の様子

開催一覧

※一覧表の内容が変更となる場合もあります。6月中旬発送予定の正式なご案内状をご確認ください。
 ※一覧表にある時間は全体会の開催時間です。個別面談を希望される場合の最終終了時間は、八戸地区が16時頃、青森・秋田・盛岡・山形・福島・郡山地区が15時頃、そのほかの地区は14時頃となります。なお、個別面談は先着順となります。

地域	開催地区	期日	時間	会場
北海道	札幌	9月2日(土)	10時～13時	京王プラザホテル札幌
	函館	9月1日(金)	//	函館ハーバービューホテル
青森	青森	9月2日(土)	//	青森国際ホテル
	弘前	9月1日(金)	//	シティ弘前ホテル
	八戸	8月26日(土)	11時～14時	八戸グランドホテル
岩手	盛岡	8月19日(土)	10時～13時	ホテルメトロポリタン盛岡
	北上	8月24日(木)	//	ホテルシティプラザ北上
	一関	8月25日(金)	//	ホテルサンルート一関
	宮古	8月31日(木)	//	浄土ヶ浜パークホテル
	釜石	9月1日(金)	//	釜石ベイシティホテル
	大船渡	9月2日(土)	//	大船渡プラザホテル
宮城	気仙沼	8月26日(土)	//	サンマリン気仙沼観洋
秋田	秋田	7月15日(土)	//	秋田パークホテル
	大館	8月31日(木)	//	秋北ホテル
	横手	8月31日(木)	//	横手セントラルホテル

地域	開催地区	期日	時間	会場
山形	山形	7月15日(土)	10時～13時	山形国際ホテル
	新庄	9月1日(金)	//	ニューグランドホテル
	米沢	9月2日(土)	//	東京第一ホテル米沢
	鶴岡	8月25日(金)	//	東京第一ホテル鶴岡
	酒田	8月26日(土)	//	ル・ボットフー
福島	福島	7月15日(土)	//	福島ビューホテル
	郡山	8月19日(土)	//	郡山ビューホテルアネックス
	会津若松	8月25日(金)	//	会津若松フントントホテル
	相馬	8月19日(土)	//	ふたばや
	いわき	8月17日(木)	//	いわきワシントンホテル
新潟	新潟	8月26日(土)	//	新潟ワシントンホテル
茨城	水戸	8月18日(金)	//	水戸京成ホテル
栃木	宇都宮	8月19日(土)	//	チサンホテル宇都宮
東京	東京	8月18日(金)	//	東京ガーデンパレス

平成18年度東北学院大学年間スケジュール

大学の年間スケジュールをお知らせいたします。ご父母の皆さまにもお覚えいただき、ご子女の円滑なる学生生活にお役立てください。(※日程は変更となる場合があります。)

平成18年

【前期】

4月	3日(月)成績発表(工学部の3・4年) 4日(火)成績発表(文・経・法・教・二部の2・4年、工学部の2年) 5日(水)入学式 6日(木)新入生オリエンテーション(～11日) 12日(水)授業開始 15日(土)スプリング・カレッジ 19日(水)科目登録届提出(文・経・法・教・二部の全学年、工学部の2・4年) 20日(木)科目登録届提出(工学部の1・3年) 26日(水)科目登録届確認(文・経・法・教・二部・工学部の2・4年) 27日(木)科目登録届確認(文・経・法・教・二部・工学部の1・3年)
5月	15日(月)創立記念日 20日(土)後援会総会 27日(土)対青山学院大学総合定期戦(～29日)
6月	16日(金)対北海学園大学総合定期戦(～18日) 24日(土)大学院特別選考入学試験A日程
7月	10日(月)授業終了(文・経・法・教・二部) 11日(火)補講(文・経・法・教・二部、～15日) 15日(土)授業終了(工学部) 18日(火)前期試験(文・経・法・教・二部、～24日) 18日(火)振替授業・集中講義・補講(工学部、～25日) 25日(火)夏休開始(文・経・法・教・二部、～9月9日) 25日(火)集中講義(文・経・法・教・二部、～31日) 25日(火)サマー・カレッジⅠ(～27日) 26日(水)前期試験(工学部、～8月3日)
8月	4日(金)夏休開始(工学部、～9月9日) 4日(金)サマー・カレッジⅡ(～5日) 5日(土)オープンキャンパス(泉キャンパス・多賀城キャンパス) 6日(日)オープンキャンパス(多賀城キャンパス) 19日(土)法科大学院入学試験A日程(～20日) 上旬 対青山学院大学二部交流定期戦 下旬 対北海学園大学二部総合定期戦
9月	4日(月)集中講義・補講(全学部、～9日) 9日(土)夏休終了

【後期】

9月	11日(月)授業開始 29日(金)9月期卒業式 30日(土)大学院秋季入学試験(前期課程) 30日(土)大学院特別選考入学試験B日程
10月	中旬 大学祭、ホームカミングデー〔同窓祭〕
12月	1日(金)泉キャンパスクリスマス 13日(水)授業終了(文・経・法・教・二部) 13日(水)大学クリスマス(土樋キャンパス・泉キャンパス) 14日(木)冬休開始(文・経・法・教・二部、～1月4日) 14日(木)集中講義・補講(文・経・法・教・二部、～21日) 14日(木)授業終了(工学部) 14日(木)大学クリスマス(多賀城キャンパス) 15日(金)冬休開始(工学部、～1月4日) 15日(金)振替授業・集中講義・補講(工学部、～21日) 15日(金)公開東北学院クリスマス

平成19年

1月	4日(木)冬休終了 5日(金)授業開始 15日(月)授業終了 16日(火)後期試験(文・経・法・教・二部、～24日) (工学部、～26日)
2月	20日(土)大学入試センター試験(～21日) 1日(木)一般入学試験前期日程(～4日) 3日(土)法科大学院入学試験B日程(～4日) 中旬 卒業生発表 21日(水)大学院春季入学試験(前期課程)
3月	22日(木)大学院春季入学試験(後期課程) 3日(土)法科大学院入学試験C日程 6日(火)一般入学試験後期課程 26日(月)卒業式

東京連絡所の開所にあたって

昨年、卒業生のアエルコーポレーション株式会社代表取締役社長舘崎直史氏から、ご自分の「会社フロアの一部を、後輩の就職活動のために無償でおかしたい」と申し入れを受けたのが始まりで、平成18年2月から4月末までの期間限定ではありますが、銀座ティファニービル4階に「東北学院大学東京連絡所」を設けることが実現いたしました。

国公立大学における現状は、大学全入時代、大学淘汰時代の訪れとともに大学間の競争や特色ある教育の提供など、学生サポート・サービス・質の教育などを全面に打ち出しております。特に地方大学は東京に事務所を構え、そこを拠点に、高校生向けの大学の情報発信の場、企業・研究機関との打合せの場、学生の就職活動支援の場、OB・OGの活動の場、など幅広く活用されています。

今回の東北学院大学東京連絡所は、そこまで手広くはできませんが、東京で就職活動する学生が、就職情報を閲覧したり企業訪問の足場にしたりと大変有効に利用されております。このような連絡所が学生のために存続できることを切望いたします。



杜の都を駆け抜けた女子陸上部

第23回全日本大学女子駅伝は、難波の地から杜の都に移して2005年11月27日に開催されました。本学陸上部は5年連続東北代表として杜の都に思いを入れて、一本のタスキを繋ぎ39km6区間を力走いたしました。この大会は過去にオリンピックなどで活躍したランナーを輩出した実績のある大会で、参加大学の陸上部は最大の力を入れている大会です。

本学の女子陸上部は1年生を主体にチームを編成し、全国の強豪校に臆することなく戦いを挑みました。ブルーの小旗や幟を持った学生と市民そして教職員の沿道からの声援を背に受けて大健闘し、今後の躍進に手ごたえをつかんだ大会でした。

多くの市民から来年の活躍に励ましの言葉を頂き、杜の都から全国へ「東北学院大学陸上部ここにあり」とその名を轟かせたいと関係者一同願っております。



※東北学院大学広報誌「OYPANOS(ウーラノス)」第21号より転載。

教育と研究の世界



民俗を問い直す

文学部歴史学科 助教授
政 岡 伸 洋

みなさんは民俗というと、どのようなものを思い浮かべられるでしょうか。お祭りや民俗芸能、結婚式やお葬式など、時代を超えて先祖から受け継がれたもの。昔から変わらない日本人のこころを反映する身近な生活文化。一般的にはこのようなイメージがあるのではないかと思います。果たして本当なのでしょう。

全国的にも有名な京都の祇園祭を見てみましょう。京都というと伝統的な都市というイメージが強いのですが、実際は平安時代から室町時代までは政治都市であり、また中世になると先進的な商工業都市としても繁栄します。伝統的な都市というイメージは近代に入って観光都市としての性格が強調されるなかで広まったものなのです。

それを反映するかのように、祇園祭は平安時代に貴族たちが権力の保持を目的に流行病や自然災害から逃れるためをはじめられ、それが中世になると商工業者が台頭し現在みられる山鉾が出現します。さらに、戦後になって観光都市としての性格が強くなると、伝統イメージの象徴である山鉾を守りつつ、観覧席がつくられ、従来とはまったく異なる巡行ルートへと変化し現在に至っているのです。

このように、民俗というのは変わらないように見えて、実は各時代の社会的背景にあわせて大きく変化しているものな

のです。最近、縄文時代をはじめ、古代や中世のあり方と現在の民俗を直接つなげて理解する研究をよく目にしますが、以上のことから、それは非常に難しいことがわかっていただけたと思います。

このような性格を持つ民俗に対し、歴史学科の民俗学ゼミでは、歴史学の基本的な知識や方法を身につけつつ、民俗学実習では実際に現地に出かけ、卒業論文でも各自の研究テーマについて直接自分で集めてきた資料をもとに、毎回積極的な議論が展開されています。これらの経験を通して、学生たちにはイメージだけではなく、当たり前を問い直すことの面白さを知ってもらえればと思っています。



沖縄県宮古島での実習風景



宮城県志津川での調査風景



心身の健康をめざした心理学

教養学部人間科学科 助教授

大竹 恵子

心理学には、さまざまな領域がありますが、私の専門は、健康心理学と呼ばれる研究分野です。健康心理学では、こちらだけではなく、身体の健康も含めた心身の健康の維持・促進を目指しています。健康心理学は、近年、発展し続けている心理学の応用領域のひとつですが、その学問の成り立ち・背景に特徴があります。それは、健康心理学は、臨床心理学、社会心理学、発達心理学、教育心理学、学習心理学、認知心理学、生理心理学などのさまざまな心理学の領域とその成果を基盤としているだけではなく、行動医学、公衆衛生学、疫学、心身医学、医療社会学などの心理学以外の領域とも非常に密接に関連しているという点です。例えば、健康心理学では、ストレスや不安、うつといった心理的な問題だけではなく、(心理学という一般的なイメージからは少し意外に感じるかもしれませんが)生活習慣病に関わる喫煙や運動、食といった健康習慣や行動なども心理学の成果を活用して改善できるため、心身の健康にかかわるさまざまなテーマが研究対象に含まれています。

このように、健康心理学が多くの領域の上に成り立っている学問であることからわかりますように、健康心理学では、研究と実践の両立を重視しています。それは、現代社会で起こっている問題を解決するためには、現状を正しく把握し、

そのための有効な対策を考えるだけではなく、実際にその対策が効果的であることを科学的に実証することが大切だと考えているからです。つまり、健康心理学は、社会の要請に基づいて社会に貢献できる心理学をめざしている領域だといえます。

私は、この健康心理学という私自身の専門と大学でのさまざまな授業を通して、学生の皆さんに、自分自身を含めたさまざまな現状を理解できる力だけではなく、そのための対処・対策やその結果を受け止めることができる力を学び、それらを実際に身につけていただきたいと思います。そして、このような力こそ、学生の皆さんひとりひとりのためだけではなく、社会にも貢献できる大きな力になると期待しています。

キャンパス・ボイス Campus Voice

***** 学生インタビュー *****

キリスト教文化の持つグローバルな価値の伝達、それを基礎とした人間形成という本学の教育目標を胸に、学生たちはその瞬間を大切にしながら学生生活を送っています。新緑の薫るキャンパスから学生たちの声をお届けいたします。



大学初の 女性応援団長、奮闘中!

教養学科情報科学専攻3年

嶺崎 里美さん

(東北学院榴ヶ岡高校出身)



立命館大学の大学院に学んだ兄の卒業式で、声を張り上げて演奏する応援団を目の当たりにして。その迫力に、大学生とはすごいものだったのが、応援団への興味を抱いたきっかけでした。東北学院大に入ってから、応援団に入団。昨年12月には、団長の大曾根学先輩から団章を与えられ、第57代団長を務めることになりました。

現在、全国的に大学応援団は団員不足で、本学も4人。仙台六大学野球でも、応援団のある大学は本学と東北大、東北工大の3校だけという現実を迎えています。折角大学に入ったのに、大学に定着していない学生も増えてきたようですが、自分は、大学に密着した生活を送ってもいいのではないかなと思うようになりました。その意味で応援団は、繰り返し喉を鍛えて自分の声や応援のスタイルを作り上げていく練習はつらいですけど、その先に、大学関係者や色々なスポーツサークルと応援を通じた交流があり、充実しています。年1回、東京を会場とした全日本学生応援団聯盟による“聯盟祭”、さらに青学・北海学園との定期戦では互いの大学のことが分かり、ヨコの関係も深まります。

4月16日からは、いよいよ仙台六大学野球が開幕。今は泉キャンパスのトラックで声出しに専念し、いい応援ができるよう頑張りたいと思います。そして、男性女性を問わず、この春の新入生の入団を心から歓迎します。



考え直し、自分を鍛える貴重な2年間。

東北学院大学大学院工学研究科
機械工学専攻博士前期課程2年
遠藤春男研究室

大 瀧 直 樹 さん
(工学部機械工学科卒)



この研究を大学4年生の1年間で終わらせるのは勿体ない、出来るところまで続けたい。それが、私が大学院に進んだ理由です。

研究テーマは「超音響顕微鏡による欠陥の非破壊評価に関する研究」。超音響顕微鏡という装置を使って、電子部品の小さな基盤等、複雑な形状をしている小さなものに生じた亀裂などの小さな欠陥を壊さずに、そのままの状態で見出し、映像化して評価するものです。レーザー光線を当てて、そのレーザー光線のある周期で切ることによって生じる微弱な音を拾い、電気信号に変えて、コンピュータで処理し、プログラムで制御しながら画像にするということを繰り返していますが、データを取って、最終的には世の中に一般化することが目標です。研究室には朝6時半に来て、レーザーを立ち上げ、8時半からスタートというペースで、忙しい時は一度も太陽を見ないで一日が終わることもあります。それでも、遠藤先生、星宮先生にご指導いただき、4年生の協力も得て、長時間の研究も苦になりません。

今年はマスター2年で、卒業なので就職活動中です。すでに興味ある企業4、5社の一次試験を受けました。私が得意なのは検査であり、設計したり実験したりも好きなので、自分が活かせる、そういうことができる企業を望んでいます。

私は学部卒からさらに2年、考え直す時間があったわけて、機械工学科の4年生には、実験が好きならば決して無駄にならないので、大学院に残ってしっかり勉強することを勧めたいと思いますね。



第53回日本学生経済ゼミナール
東北学院大学大会実行委員会(通称/インゼミ実行委員会)

10年ぶりの東北学院大学大会 成功のために結集した熱きメンバーたち

実行委員長

竹内 祐輔 さん (経済学科4年・新潟県立巻高校出身)

今年は東北学院大が開催校となり、開催日は、12月23日を予定しています。昨年は中央大学が開催校で、私も大会を運営するお手伝いとして参加して、そこで実際の運営の仕方を参考にさせていただきました。

これからの自分たちの仕事ですが、まず、各校で討論したい経済学のテーマを決めてもらい、その討論の相手校を探すために5月末にテーマ設定会議を開催。そこで、テーマに合致する対戦相手を探していただくのです。対戦相手が決まれば、当日の議事・進行を兼ねている議長団がそれぞれの論文を見て、論点が合っているかを確認し、そこからが本当の始まりです。開催当日までには、離れている大学間で資料の交換による事前準備が不可欠ですから、テーマ主意文、中間レジュメ、さらに10・11月には最終的に出来上がった論文を交換しあう機会を設けることも自分たちの重要な役目です。

実行委員会の仕事としては、こうした大学間の交渉の仲介役・当日の運営・宿泊交通の確保と大きく3つに分かれますね。今、一番大事なことは、参加者の方々に申し込まれてからの1年間

のプロセスで、そこで手違いがないようにしなければならないと思っています。そのためにも、なるべく早めの情報公開を心掛け、参加者に自分たちのやろうとしていることを周知徹底していきたいですね。

実行委員会メンバーは結成から今年で1年。2年生から4年生まで学科も参加動機もさまざまですから、まずは自分が範を示すことが先。そこで、みんなの志気が上がってくれば良いかなと思っていますが、活気が上がってくるのはこれからでしょう。今の段階では問題ありませんが、いずれ後輩たちも仕事もだいたい分かってくれるでしょうから、自分たちで考えて行動できるようになって欲しいという要望はあります。私自身としては、自分から土台を作り、仕事の流れを作っていくって、みんなをそこに巻き込んで、いいペースが作っていければいいと思っています。

学院大では、例年、十ぐらいのゼミがこのインゼミに参加していますが、今年は開催校ですから、普段参加しておられないゼミにもぜひ参加していただきたいと思います。

日本学生経済ゼミナールとは？

全国の経済学を学ぶ大学生が一堂に会し、共通のテーマに沿ってゼミナール形式で議論を戦わせるイベント。例年、参加学生はおよそ2千人。開催運営は、参加大学の持ち回りとなり、今年は東北学院大学が10年ぶりの開催校となる。



この日集まってくれた 実行委員会メンバー

後列左から萩原禎之さん(経営学科2年)・鈴木祝也さん(経済学科3年)・岩持昂明さん(経済学科3年)、前列左から千葉瑠衣さん(経営学科2年)・山根梓さん(経済学科4年)・及川俊さん(経営学科4年)・伊藤和也さん(経営学科4年)・高嶋博昭さん(経営学科4年)、そして実行委員長の竹内祐輔さん(経済学科4年)

学務部より

本学在学中に小学校教諭の 免許状が取れます

学務部長 井上 義比古

今後しばらくの間は小学校教諭の採用が増える見込みであること、および、本学でも希望者が少なくないことに対応し、2006年度から、小学校教諭の養成で定評のある聖徳大学（千葉県松戸市にあります）の協力を得て、本学在学中に小学校教諭一種免許状（小学校の先生になるための資格）を取得できる仕組みを始めました。この仕組みは、正確には「小学校教諭免許状一種取得支援プログラム」と言い、現在の2年生から適用されます。

本学は小学校教諭養成課程を設置していないため、これまで、小学校の先生になりたい学生は、本学を卒業した後、そのような課程を設置している大学に編入して通学する、あるいは通信制の課程に編入して教育を受けるか、という道を選んでいました。小学校の先生の資格を得るのに、本学を卒業してから2年以上かかるのが普通でした。

しかし、聖徳大学のご協力によって、本学で1年生から教員免許状を取得するための勉強をしている学生に限り、聖徳大学通信制の科目等履修生となって、本学だけでは不足する科目を履修したうえで、4年生のときに（中学や高校での教育実習に加えて）小学校での教育実習に参加して単位が認定されると、免許状を申請することができますようになったのです。

小学校の先生になるための課程を設けていないのだから、そもそも小学校の先生になりたい人が入学しているはずはない、と考える方もあるでしょうが、実際には希望者は結構多いようです。このプログラムの定員は20人で、希望者が多いときに選考が行われますので、プログラムに参加するだけでも容易ではありません。そのうえ、卒業に必要な科目をきちんと勉強しながら、本学で中学校の教職課程を履修するほかに、小学校の先生になるための勉強もしなければならぬのですから、小学校教諭の免許状取得にたどり着くのはかなり大変です。履修しなければならない単位数も、全部で普通の学生の2倍近くにもなるのです。

これまで述べたように、このプログラムを利用して小学校教諭の免許状を取得するのは大変難しいのです。しかし、実際には、能力・気力ともに充実した人たちが参加することになるでしょうし、聖徳大学も、本学学生を安心して託すことができるきちんとした大学ですので、新しいプログラムを通して、さまざまな面で「好ましく、かつ優れた」小学校の先生が多数生まれることは、確実だと思われます。

学生部より

学生の健康管理について

東北学院大学の在学学生総数は凡そ12,500名で小さな町の人口より多い学生が三キャンパスで学生生活を過しております。一つの病院あるいは診療所があってもおかしくありません。学内には医療施設はありませんが、親元を離れて生活している学生の健康管理が学生部の大切な業務になっております。

健康を害しては快適な学生生活を送ることも難しくなりますので、大学では各キャンパスに保健室を設けて保健師の資格を有する職員を配置して体調を崩した学生への処置をしております。また、週に一日校医の先生が保健室で学生の健康診断や医療相談にも応じております。必要であれば医療機関にも紹介を行い適切な治療が行えるよう指導いたします。また、年度始めの健康診断において注意する必要がある学生には保健師の職員が継続的に指導を行っております。

一人暮らしを始める学生が多い泉キャンパスでは特に管理栄養士の方においでいただいて個々人の食生活の相談にも乗り、栄養が偏らないように食事面からのサポートも重要な仕事の一つになっております。このような健康診断に基づく指導のほかに、「禁煙」も大学を挙げて推進しておりますのでいつでも「禁煙」したい学生には

具体的な方法で指導も行なっております。大学生になりますと「飲酒」の機会も生まれますので、お酒が飲める体質がどうか調べるパッチテストも提供しています。多くの学生がテストを受けて自分の体質を知ることが出来るように手助けもしております。

学生生活を快適に送ることが出来ることも大切ですが、卒業後にどうなっているかは今、健康について意識しているかによって違ってきますので三名の校医と六名の保健室勤務の職員で学生の健康管理に努力いたしております。

●問い合わせ先

土樋キャンパス学生課

TEL.022-264-6471 / FAX.022-264-6473

多賀城キャンパス学生課

TEL.022-368-1120 / FAX.022-368-7070

泉キャンパス学生課

TEL.022-375-1151 / FAX.022-375-5050

就職部より

就職への道のり

— 将来を見つめて —

就職部長 高橋 彌 穂
やす お

日本の経済状況にもやっと明るさがみられるようになった今日この頃、大学に寄せられる求人数も昨年と比べますと確実に増加しております。またバブル崩壊後々々の売り手市場などと情報事態も過大に飛び交っております。

しかしながら、学生の就職環境は本当に緩んではおりません。厳しいのが現状なのです。これは昔と違って企業の人材確保が、厳選採用を行っているからです。A社が欲しいと思う人材はB社でもC社でも採用したい人材となります。このことは教員でも公務員でも状況は同じなのです。

このような厳しい状況下で、自分の希望する職種や企業に就職できるのは如何にハードルの高いものかご理解いただきたいと思います。仕事の内容や相手の企業に関する知識はもとより、仕事（働く）そのものに対する明確な意志と情熱を持つことが絶対不可欠であり、そのためにもできるだけ早い時期に自分と真摯に向き合い、将来の進むべき道をおおまかにでも見い出しておくことが大切です。どうかこの点を踏まえ、それぞれのご家庭におかれても十分に話し合い、確認していただきたいと思えます。

幸いなことに、今年の後援会総会においても、学生の

就職に少しでも役立つことができるように、学生の就職を考えるセミナー「親は子供の究極のサポーター」を後援会主催、就職部共催で開催いたします。講師は「女性と仕事」を中心テーマに就職、企業、人材開発などについての執筆や講演などで活躍中のキャリアカウンセラー福沢恵子氏です。どうぞ奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

●問い合わせ先

土樋キャンパス就職課

TEL.022-264-6481 / FAX.022-264-6486

多賀城キャンパス就職係

TEL.022-368-1101 / FAX.022-368-1118

泉キャンパス就職係

TEL.022-375-1161 / FAX.022-375-1534

教育研究振興資金募集のお願い

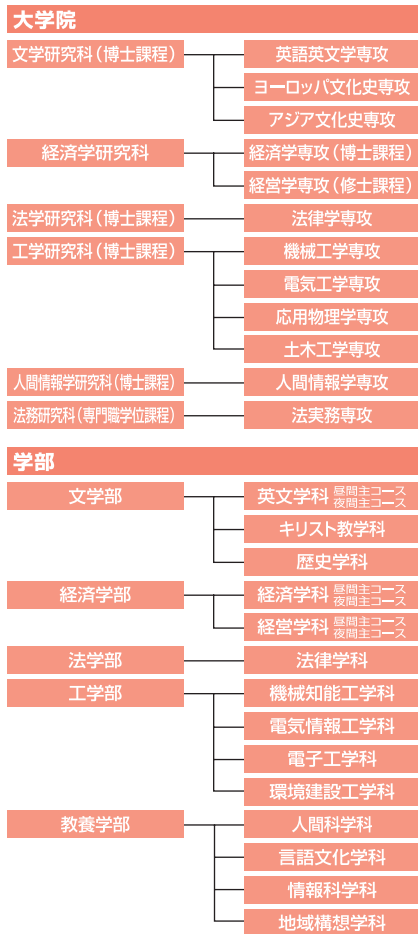
学校法人東北学院では、平成16年4月1日から平成21年3月31日の期間、次の事業の完遂に向けて教育研究振興資金を募集しております。広く皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。

【募金目標額20億円】

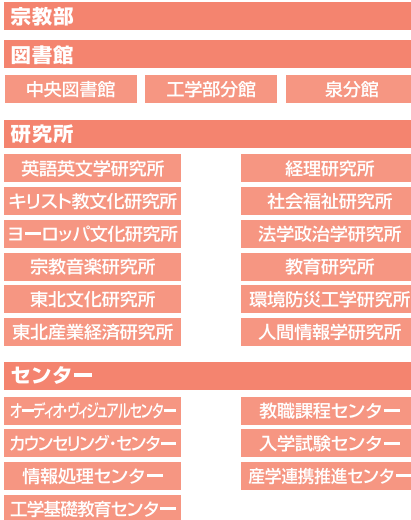
- 1.東北学院大学キャンパス整備
- 2.東北学院中学校高等学校校舎建設
- 3.東北学院榴ヶ岡高等学校体育館および管理棟建設
- 4.東北学院会館(仮称)建設
- 5.東北学院育英奨学基金の増額

詳しくは、
東北学院法人事務局財務部会計課まで
お問い合わせください。
〒980-8511
仙台市青葉区土樋1-3-1
TEL.022-264-6467 FAX.022-264-6510

ORGANIZATION 教学組織図



平成18(2006)年4月1日現在



東北学院大学

土樋キャンパス

大学院:文学研究科、経済学研究科、
法学研究科、法務研究科
学部:文学部・経済学部・法学部(各3・4年)、
夜間主コース
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1
TEL.022-264-6421(総務課)
FAX.022-264-3030()

多賀城キャンパス

大学院:工学研究科
学部:工学部
〒985-8537 多賀城市中央1-13-1
TEL.022-368-1116(総務課)
FAX.022-368-7070()

泉キャンパス

大学院:人間情報学研究科
学部:文学部・経済学部・法学部(各1・2年)、
教養学部
〒981-3193 仙台市泉区天神沢2-1-1
TEL.022-375-1121(総務課)
FAX.022-375-4040()

東北学院大学後援会通信 GROWTH(グロース) vol.8

本誌に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

発行日 平成18(2006)年4月
編集 東北学院大学後援会事務局
(総務部総務課内)
発行 東北学院大学後援会
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1
TEL.022-264-6411
FAX.022-264-3030
E-mail kouenkai@staff.tohoku-gakuin.ac.jp
URL http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/
印刷 ハリウコムニケーションズ株式会社

本誌における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて
本誌に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本誌に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本誌の無断転載はお断りしております。

「個人情報保護法」への取り組みについて

平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院大学後援会では個人情報の取り扱いについて、学校法人東北学院が制定した「学校法人東北学院個人情報保護規程」にのっとり、個人情報の適正な管理と保護に努めています。

後援会事務局では、東北学院大学後援会の運営に必要な皆様のご個人情報をお預りしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱ってまいりますので、皆様方のご理解・ご協力をお願いいたします。

なお、後援会事務局で使用している個人情報の利用目的は次の通りです。

- ・「父母のための大学ガイド」並びに「後援会通信“グロース”」の発行・送付
- ・「後援会総会」並びに「地区後援会」の案内
- ・その他、上記に関連する業務